

相模原市協働事業提案制度事業（新規採択事業分）検討結果

市民協働推進審議会 答申結果の表記について

協働事業実施の方向性

- A：協働事業として実施することがふさわしい提案であるとする。
- B：事業内容を修正（精査）することにより協働事業としての実施が可能なものとする。
- C：協働事業として今回は見送ることが適当な提案であるとする。

事業の名称 団体・担当課の名称	事業の概要	市民協働推進審議会 答申		答申を踏まえた市としての検討結果
		結果	審議会意見（要点）	
NO. 1 市民提案型事業 多胎プレファミリー講座事業 ・相模大野ツイングクラブ（さがみはら多胎児の会） ・こども家庭課、各区子育て支援センター	多胎家庭が安心して出産・育児を迎えられるよう、専門職の講話と経験者のピアサポートを行う「多胎プレファミリー講座」を開催。妊娠期からの早期支援と夫婦協働を促し、孤立防止と子育て環境の充実を図る。	協働事業実施の方向性 採択 A 協働事業として実施することがふさわしい提案であるとする	<ul style="list-style-type: none"> ・多胎家庭を対象とした支援充実を図るもので、地域の子育て課題に的確に対応している。 ・該当世帯数は少ないが、社会全体の理解促進に大きな意義がある。 ・事業を通じて多胎育児への社会的認知向上と地域ぐるみの支援体制構築が期待される。 ・当事者だけでなく地域への周知・啓発を強化し、支援意識を広げることが望ましい。 ・行政と団体が専門性を生かして協働し、持続的な支援モデルの確立を期待する。 	採択 審議会意見に基づいて検討を行い、実施すべき

事業の名称	事業の概要	市民協働推進審議会 答申		答申を踏まえた市としての検討結果
団体・担当課の名称		結果	審議会意見（要点）	
<p>NO. 2 市民提案型事業 学生と地域企業の”まちづくり”をマッチングするプラットフォーム運営事業</p> <p>・一般社団法人ヒヤク LABO ・こども・若者応援課、産業支援・雇用対策課</p>	<p>学生と地域企業が“まちづくり”を通じて関わるプラットフォーム「ヒヤク LABO」を運営し、キャリア支援と地域連携を両立。大学・企業・地域の協働を促進し、若者の地元定着や地域雇用の拡大を目指す。学生主導の「さがみはら学生祭」も開催。</p>	<p>協働事業実施の方向性 不採択</p> <p>C 協働事業として今回は見送ることが適当な提案であると考え。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学生と地域企業をつなぐ提案は意義深く、将来の展開に期待する。 ・事業目的や進め方が抽象的で、成果の見通しが不十分である。 ・企業との接点づくりや具体的な計画を明確化すべきである。 ・再提案に向けて、目的整理と事業内容の具体化が必要である。 ・審議会は意欲と構想力を評価し、今後の挑戦を期待する。 	<p>不採択</p> <p>審議会意見に基づいて検討を行い、見送るべき</p>
<p>NO. 3 市民提案型事業 さがみんとにゃんわんフェスタ 事業</p> <p>・たんぼぼの里 ・生活衛生課</p>	<p>多頭飼育崩壊などの防止に向け、動物愛護と適正飼育を啓発する「さがみんとにゃんわんフェスタ」を開催。制度や支援情報を周知し、相談・交流・学びの場を通じて、人と動物が共に暮らせるまちづくりを推進する。</p>	<p>協働事業実施の方向性 採択</p> <p>A 協働事業として実施することがふさわしい提案であると考え</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・動物愛護や譲渡活動を通じて市民の命に対する理解を深める事業で、公益性が高く協働効果が明確である。 ・行政と団体の協働で課題解決を図り、協働モデル事例として評価する。 ・地域住民の関心が高く、保健所との連携体制も確立されており信頼性の高い運営が期待される。 ・動物福祉への啓発と地域共生意識の広がりを目指し、事業を発展的に進めることが望ましい。 ・行政はこの事業の意義を発信し、全市的な波及を期待する。 	<p>採択</p> <p>審議会意見に基づいて検討を行い、実施すべき</p>